

防火水槽躯体強度調査業務委託仕様書

相模原市

1 概要

(1) 件名

防火水槽躯体強度調査業務委託

(2) 業務目的

本業務は、「(財) 日本消防設備安全センター・二次製品防火水槽等連絡協議会」が示す各種マニュアルの二次調査（一部、三次調査含む）として実施するものである。

調査対象の防火水槽は、道路下に設置され、かつ設置から 50 年を経過するものであり、当該防火水槽の現況調査を行い、劣化度の評価を行い、補強、用途廃止等の必要性を判断し、その工法を実施するための必要な基礎情報を得ることを目的とする。

2 履行場所

緑区与瀬 2226-4 他 10 か所（別添 1 のとおり）

3 業務仕様

(1) 業務の実施にあたっては、次の内容を記載した実施計画書を提出し、発注者の承諾を受けるものとする。

- ア 業務の概要
- イ 対象施設
- ウ 適用基準等
- エ 調査関係様式
- オ 実施工程表
- カ 実施体制表
- キ その他発注者が指示する事項

(2) 打合せ及び記録

打合せは次の時期に行い、記録を速やかに作成し、発注者に提出すること。

- ア 業務着手時
- イ 中間報告時
- ウ 業務完了時
- エ ア～ウ以外に打合せが必要となった時

(3) 注意事項

- ア 本仕様書において疑義が生じた場合は、速やかに発注者と協議し決定すること。
- イ 本業務の履行にあたり、発注者から貸与された情報や、取得した情報、調査結果を漏洩してはならない。

4 業務内容

(1) 現地踏査

該当防火水槽設置地点の現地踏査を行い、設置状況の確認と調査時に必要な交通規制の必要の有無を確認する。

(2) 水抜き工

水抜き工は、発注者にて実施し、実施日は双方協議のうえ、決定するものとする。

(3) 水槽内部洗浄工

- ア 水槽内の清掃及び洗浄を行う。
- イ 洗浄に使用した水については受注者により処理すること。
- ウ 底版等に汚泥等が堆積し、調査の支障となる場合は、発注者と協議し、対応を決定すること。

(4) 水張り工

調査終了後の水張りは、発注者が実施する。

(5) 漏水確認

受注者は、4 (4) 水張り工から概ね2週間後に漏水の有無を確認すること。

(6) 足場工

頂版等を調査するため、防火水槽内部に単管足場仮設工を設置する。

単管足場を設置するにあたり、詳細な構造図が存在しないものは、一般構造図 (別添2) を参考にすること。

(7) 安全管理

ア 道路交通に影響を及ぼす場合は、交通誘導警備員を配置する等必要な事故防止対策を実施すること。

イ マンホール蓋を開放し内部を調査する際は、周囲の安全管理のためガードマンを配置すること。

ウ 防火水槽内部の作業に関しては、送排風機等を使用し酸欠防止対策を実施すること。

(8) 躯体調査

次に示す表のとおり

【調査数量表 (1基あたり)】

調査項目	調査内容	調査数量
目視調査	損傷及び変状確認	1式
寸法確認	寸法計測(上部・中部・下部)	1式
はつり調査	①鉄筋探査工 (1,000mm×1,000mm、鉄筋ピッチ) ②コンクリートはつり工(200mm×200mm) ③はつり部鉄筋調査工(鉄筋径・かぶり・鉄筋腐食度) ④はつり部中性化試験 ⑤はつり部埋め戻し工 (露出された鉄筋は錆落とし、錆止め塗料塗布、無収縮モルタル充填で補修)	4か所 (頂版1、側壁2、底版1) 鉄筋探査した結果、無筋構造であった場合は調査数量を変更します。
コア抜き	①鉄筋探査工 ②コア採取工(頂版はφ75mm、それ以外はφ100mm) ※ ※「JISA1108」に準拠し、高さ直径の比が2.0になるような円柱供試体を取得すること。 なお、躯体厚が薄く比が2.0にならない場合は、発注者と協議して決めること。 ③コア埋め戻し工 (露出された鉄筋は錆落とし、錆止め塗料塗布、無収縮モルタル充填で補修) ④コア圧縮強度試験(中性化試験含む)	6か所 (頂版2、側壁4)
部材厚測定	非破壊検査(衝撃弾性波法による)	1式(頂版1、側壁2、底版1)

(9) 報告書作成

躯体調査及び調査結果に基づき、以下の事項を記載した調査・診断業務報告書をカラーにて作成すること。

ア 防火水槽概要、構造図(平面図、断面図)及び埋設位置図

イ 調査結果を立面図(展開図)等で図示した調査結果図

ウ 調査結果図に対応する劣化状況写真

エ 調査会社名、調査責任者及び調査担当者

オ 調査実施日、調査時の天候、温度条件等

カ 調査方法、調査結果、考察、総括等

5 適用基準書

本調査の実施は、以下に示す図書に準拠して実施すること。

図書名	発行先
既存コンクリート造防火水槽 機能診断マニュアル（案）（平成 20 年 3 月）	（財）日本消防設備安全センター・ 二次製品防火水槽等連絡協議会
既存コンクリート造防火水槽の 二次調査の手引き（案）（平成 21 年 3 月）	
既存コンクリート造防火水槽等 維持管理マニュアル（案）（平成 23 年 3 月）	

6 成果品

名称	数量	提出時期	備考
実施計画書 （A4サイズファイル綴じ1部）	1 部	現地踏査前	調査前に監督員の承諾を得る。
調査・診断業務報告書 （A4サイズファイル綴じ1部）	1 部	完成時	水槽ごとに調査・診断結果をまとめたもの
電子データ（CD-R）	1 部	完成時	

7 履行期間（期限）

契約日から令和 8 年 2 月 27 日（金）まで

8 その他

- （1）本業務にあたり設計書、仕様書等に記載のない事項は、発注者の指示によるものとする。
- （2）作業中に異常を発見した場合は、発注者と受注者協議のうえ、原因を調査し、適切な処置をすること。
- （3）現地の躯体調査の日程は、発注者と受注者協議のうえ決定すること。
- （4）騒音等が発生する場合には、事前に付近住民に周知し、了解を得ること。
- （5）業務に必要な物品は、受注者が負担すること。
- （6）業務の実施にあたり、必要な届出、許可、申請等は受注者の責任で取得すること。

9 担当部署

相模原市消防局 警防部 警防課 水利・装備班

〒252-0239 相模原市中央区中央 2 丁目 2 番 15 号消防指令センター 4 階

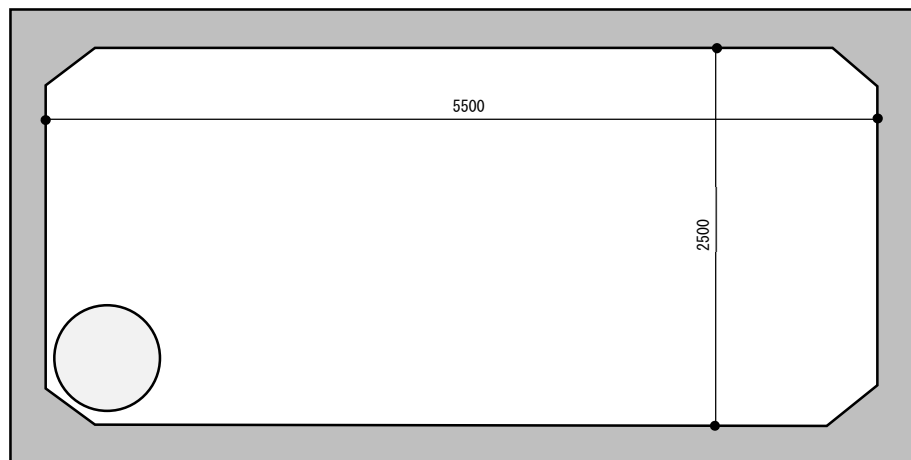
TEL:042-751-9141 FAX:042-786-2472

履行場所一覧

番号	防火水槽№	区	設置住所	路線名		容量	設置年度
1	1453	緑	与瀬 2226- 4 地先	市道	中野小原	40	S44
2	1456	緑	与瀬本町 10 地先	市道	本町 3 号	40	S36
3	1458	緑	与瀬 745- 2 地先	市道	上町公園	40	S39
4	1464	緑	与瀬 1129- 1 地先	市道	東原 1 号	40	S36
5	1470	緑	与瀬 2055- 5 地先	市道	橋沢 1 号	40	S45
6	1483	緑	千木良 1216- 2 地先	市道	西ノ久保 2 号	40	S45
7	1485	緑	千木良 1048 地先	市道	西村 1 号	40	S38
8	1508	緑	若柳 1178- 1 地先	市道	阿津 1 号	40	S41
9	1514	緑	寸沢嵐 3335- 3 地先	市道	鼠坂 1 号	40	S47
10	1171	緑	中野 1678- 7 地先		認定外道路	40	S40
11	1180	緑	中野 581- 3 地先		認定外道路	40	S39

【参考】 防火水槽一般構造図 (40 m³級)

【平面】



マンホール蓋の位置及び躯体の厚みは防火水槽ごとに違うため参考
とすること。
なお、躯体の厚みは一般的な 250mm とする。

【断面】

